

悪い鬼を追い出そう

節分会（筋生保育園）

日本の伝統行事に親しんでもらおうと2月3日、町内の各保育園で豆まきが行われました。筋生保育園では、182人の園児たちが参加。初めに鈴木とみ子園長から節分にまつわるお話を聞き、心の内にいる「意地悪鬼」や「泣き虫鬼」、その鬼を退治する「福の神」の寸劇を見た後「鬼は外、福は内」と大きな声を出して鬼を追い払いました。最後に、園児たちは投げた落花生を拾い集め、年の数だけ食べて楽しみました。



地球温暖化防止を推進

三好町環境保全講演会

地球環境の保全を促進し、理解を深めてもらおうと2月4日、サンアートで三好町環境保全講演会が開かれました。講師に愛知県環境部大気環境課の伊藤勝至^{かつし}さんを迎え、町内の事業所などから70人が参加。「あいち地球温暖化防止戦略について」と題した講演を聴きました。世界規模の地球温暖化の現状や県と町の地球温暖化防止に対する取り組み、環境施策などが紹介され、環境保全の大切さを改めて認識していました。



世界で一つのオリジナル小物

子ども講座「ものづくり」

みよし悠学カレッジの子ども講座「ものづくり」が2月5日、中部小学校で開催されました。講師の胡井京子^{えびい}さんの指導の下、26人の親子がキーホルダーやペンケース、小銭入れなどのレザークラフトに挑戦。自分のインシヤルや好きな絵柄などを皮の表面に刻んで好みの色を塗った後、牛皮のひもで部品を結び合わせていきました。そして、世界で一つのオリジナル小物が完成すると、参加者は出来栄を見て、感激していました。



農業の活性化を目指して

農事組合法人「ファームズ三好」設立総会

三好町で初めての設立となる農事組合法人「ファームズ三好」の設立総会が2月8日、あいち豊田農協で行われました。これは後継者不足や荒廃農地などの課題に対し、法人化することで水稲や野路野菜の複合経営を行い、生産力を上げて農業の活性化を図ろうと設立されたもの。総会で代表理事の眞浦大泰（みのうら だいとよ）さんは「組合員の体力、英知を集め、ファームズ三好の発展と町の農業活性化の礎になるよう努力します」と決意を新たにしました。



学校給食について学ぼう

学校給食センター見学（中部小学校）

学校給食がどのように作られるかを学び、食に対する理解を深めようと2月9日、中部小学校の3年生65人が学校給食センターを見学しました。調理室を窓からのぞいた児童たちは、気付いたことを次々とメモに記入。職員から調理工程の説明を受けながら熱心に質問をしていました。そして、実際に使っている調理器具や釜は児童13人が入れてしまつ大きさであることが紹介されると、児童たちはその重さや大きさに驚いていました。



モンゴル文化に触れる

世界を知ろう・体験しよう～モンゴル編～

モンゴルの文化に触れ親しんでもらおうと2月12日、サンアートの「世界を知ろう・体験しよう」モンゴル編が開かれました。馬頭琴による伝統音楽が流れるなか、モンゴル出身の講師、アージム・シンサランさんが歴史や文化を紹介。参加者は民族衣装「デル」の試着やモンゴルのお茶の葉を使ったミルククレーを楽しみました。女性の一人は「遊牧民や大自然に魅かれ、ぜひ行ってみたいくなりました」と思いをはせていました。

